

本番さながら

消防団春季連合演習



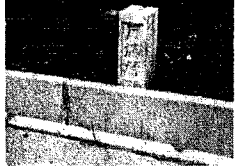
月漏村消防団では去る六月四日昭和五三年春季連合演習を行ないました。

演習は、早朝「月漏中学校用務員室から出火」との想定に基づいて、七時五分、一九番通報により開始されました。通報後、役場サイレンが鳴り響き、消防団が出動、続々と月漏中学校に集結、消火活動を展開しました。また白根地区消防本部からも消防車、救急車が出動し、人命救助や去る四月白根市の藤村式黒板火災の教訓を生かした中継放水の訓練など、本番さながらの訓練を行いました。

当日表彰を受けた方々は次の通りです。(敬称略) 一、月漏村消防表彰規則により表彰されたもの。十年以上永年動続者 梨本邦雄。十五年以上永年動続者 青柳巳代司、村井猛、野内庄衛、池田栄一、白倉保、曾山毅一郎。二十年以上永年動続者 棚橋章好、小湊健吉。二十五年以上永年動続者 長沼清一。十年以上動続し退団した者で他の模範と認められるもの 深沢幸雄、神保一夫、田村和久、曾山勇吉、五十嵐兼道、近藤忠尚、小林志郎、阿部誠栄、野内三吉、河井秋弘、笠原勝、丸山興秋、大橋正一、曾山幸一郎、荻原重光、大谷良弘、磯貝善信、五十嵐守、小武内克哉、佐藤邦夫、野沢昭延、大関関衛、児玉国雄 あります。

国土調査打設杭 保持にご協力を

「国土調査」測量のために打設したコンクリート杭(多角点杭)は、各筆毎の測量する重要な杭、及びプラスチック製赤キヤップ杭(官民界...道路、水路の敷地と民地との境界を区分する杭)黄色のペンキを塗ってある杭(個人境界を示す杭)、白色のペンキを塗ってある杭(個人所有地内)の筆界杭)又はプラスチック製七角杭(月漏村と他町村界を区分する杭)は、国の認証をうけるまで大切な「測点杭」です。従って、厳重に保存しなければならぬことになり。



もし、みだりに杭を抜いたり破損したりすると、国土調査法第三十五條、三十七條の規定により罰金が科せられますのでご注意ください。工事などのため、これらの杭が支障になる場合は、復元措置を施してから施工して下さい。なお、木滑、釣寄、釣寄新、東長島地籍内には官民界杭が耕地(田)のなかに打設してありますが、特別に注意くださるようお願いいたします。

交通事故を上回る犠牲者

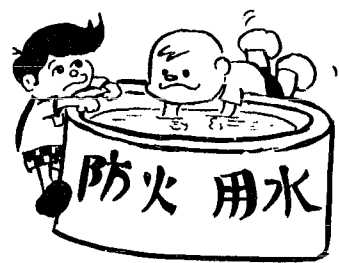
＜子どもの水難事故白書＞

毎年六月に入ると、いたましい子供(中学生以下)の水難事故が目立って増えます。子供の水の事故は、四季を問わず一年中発生していますが、とりわけ六月八月の夏場がピークとなります。この三ヶ月間で、年間のほぼ半数にあたる死者・行方不明者が出ています。昨年の例を見ると、全国の犠牲者総数二千二百七十六人のうち、五百八十八人(四六%)がこの時期の事故によるものです。こうした「水の犠牲者」は同じ時期の交通事故による死亡者を大きく上回っています。

ところで犠牲者を年令別にみますと、五才以下の幼児が二百九十五人と五割を占め、次いで小学生の二百二十七人(三九%)となっております。不注意が原因と考えてよいでしょう。

保護者への注意事項

▽幼児のひとり遊びは危険です。常に目をなさないようにしましょう。▽家の近く、ため池や用水路などが危険な状態で放置されているときは、警察に連絡するか、所有・管理者に申し入れて、サクヤフタをしてもらおう。▽子供たちだけで水遊びや水泳に行かせないようにし、必ず大人がついていく。▽危険な水辺で遊んでいる子供を見かけたときは、進んで声をかけ安全な場所まで遊ばうにさせる。これらは最低限、保護者が守らなければならない注意といえます。この励行で子供を水の事故から守りましょう。



中学校体育祭から

去る五月二十八日、初夏の日射しをうけ、月漏中学校の体育祭が行われました。そのひとこま、障害物レースのようを紹介しましょう。



からんじやいやん

食中毒の応急手当法

ジメジメしたお天気が続くと、カビが発生したり、細菌がうごめき始めます。梅雨の残る7月初旬は食中毒の起こりやすいシーズンです。吐き気や腹痛、下痢は、まず食中毒が考えられます。こんなときお医者さんがくるまで家庭での応急手当の方法は次の通りです。

＜食後まもないとき＞ 毒性を早く体内から出すため、指をノドの奥まで入れて、胃の中のを吐かせるようにします。その前にぬるま湯か、食塩水をたくさん飲ませると効果的です。その後、毛布などで体を暖めましょう。

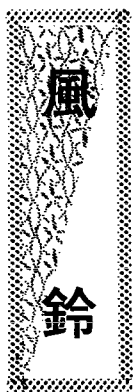
＜食後数時間たったとき＞ こうなると、食べ物は腹の中に入ってしまう、吐かせるのは無理です。この場合は、下剤を大量の水と一緒に飲んで腹の中のを、早く体内から出すようにします。

＜吐き気が激しいとき＞ 胃の部分の水を冷やして落とします。逆に腹痛がひどいときは暖めてください。

＜キノコ、魚介類の中毒＞ キノコの場合は、食後数時間たってから発病し、魚介類はじんましんが出る場合が多いようです。いとおかしく思ったら、塩水や重曹水を飲ませて吐かせる努力を繰り返すか、洗腸して体内の毒性を早く出すことが第一です。なお、下痢が続くと体が脱水状態になります。症状が落ち着いたら、番茶、果汁類で水分を補うことが大切です。



歳時記



夏の夜、風呂あがりの縁側で夕涼みとくれば、欠かせないのが風鈴です。家の軒先や縁側につるされて涼しげな音を立てる風鈴は、古くは仏教とともに中国から伝わった風鐸をもとにつくられたといわれています。はじめは、主に上方の商家が店先に飾って音を聞かせ、お客に風を感じさせるサービス用に使われました。それ以来、広い武家屋敷などにはあまり用いられず、もっぱら庶民に親しまれて、江戸時代は虫売りなどとともに、風鈴売りは夏の風物詩の代表となり、そのなかには琴のような妙音を出すものもあり、風箏とよばれます。現在、広く愛用されているのはガラス製です。戦前は七月の上旬になると、赤いガラス製の風鈴をたくさんつるした風鈴屋さんが、にぎやかな音をたてながら売りあるく姿も見られました。吊り忍ぶるとともに仕立てられて、緑と水と音の三つの涼味を、同時に楽しめるものもあります。音がよいので知られる松風風鈴は、南部鉄で作られた仙合名物。そのほか金属製、陶製、木製のものもあります。近代化した私たちの暮らしに、なおかつ風鈴は根強い人気をもっています。そのやさしい音に、私たちの心を打つ何かがあるのでしょうか。

